



JP

Revision index : 24/07/2023

取扱説明書

LEAF3

SUPAIR
34 rue Adrastée
Parc Altais
74650 Annecy - Chavanod
FRANCE

45°54.024'N / 06°04.725'E

www.supair.com



リーフ3をお買い上げいただきありがとうございます！私たちは、共通の情熱であるパラグライディングで、あなたのお供ができることを光栄に思います。

スップエアーは、1984年以来フリーフライトに使用される装備をデザインし、製造し、販売をしてきました。スップエアー製品を選択することにより、30年以上に渡る技術革新とフィードバックによる成果ならびに顧客サービスを手に入れたこととなります。我々は行動倫理及び顧客サービスに誇りを持っています。

この取扱説明書が包括的かつ分かり易いもの、そして願わくばためになるものであると思っただけの事を願っています。十分注意しながら確実にお読みください。

最も新しく更新された製品情報をスップエアーのホームページ(www.supair.com)で確認することができます。また、ご質問等がある場合には最寄りの販売店にお気軽にご相談ください。

もちろんスップエアー・チーム全員もあなたのご質問にお答えすることが可能です(info@supair.com)。多くの安全なフライト、楽しい時間そして幸せなランディングをされることを望んでいます。

スップエアーチーム

目次

はじめに	4
スペック	5
飛行重量範囲	6
各部名称	7
グライダーの接続	8
プレフライトチェック	10
テイクオフ	11
飛行特性	12
フライトの終わり	13
特別な使用法	13
緊急降下手段	14
異常事態	16
ライン取り付け図	17
素材	18
ラインチェックシート	19
認証	29
メンテナンス	30
リサイクル	31
エコに対する責任	31
定期検査	31
免責	31
パイロットの装備	31
運用限界プラカード	32

はじめに

リーフ3は中級クラスのパイロットの要求全てを満足するものです。リクリエーションならびにクロスカントリーフライトを目的としています。パイロットのステップアップ過程全般において優れた快適さを提供します。熟慮されたデザインと素材の選択は、耐久性と品質を念頭に置いています。

リーフ3は、EN926-1:2015および926-2:2013のクラスBの認証を取得しています。これは優れたレベルの受動的安全性ならびに飛行中の優れた抵抗力と回復特性を持っていることを示します。またあらゆるレベルのステップアップ中のパイロットに適していることにもなります。

このグライダーは今日市販されているほとんどのハーネスで使用することが出来ます。しかしながら空中での快適さおよびこのグライダーの使用目的に理想的なスップエアハーネス群団の”進歩 (PROGRESSION)”モデルを選択することを推奨します。

優れた受動的安全性のおかげで、リーフ3は、その能力がインストラクターによって肯定的に評価されており、国内でEN-Bのグライダーを初心者コースで使用することが可能であるならば、インストラクターの監督の下で有能な講習生でもフライトすることができます。

この取扱説明書を読んだ後に、まず初めに講習斜面で立ち上げ、グライダーのチェックを必ずしてください。

注意:以下に、この取扱説明書を読むにあたって、手助けとなる3つのアイコンを示します。



アドバイス



警告!



危険!!

LEAF3	XS	S	M	ML	L
セル数	49	49	49	49	49
展開面積 (m ²)	20,50	24,00	26,70	29,00	31,00
展開スパン (m)	10,44	11,29	11,91	12,41	12,83
ルートコード (m)	2,42	2,62	2,76	2,88	2,98
展開アスペクト	5,31	5,31	5,31	5,31	5,31
投影面積 (m ²)	17,22	20,16	22,43	24,36	26,04
投影スパン (m)	8,17	8,84	9,33	9,72	10,05
投影アスペクト	3,88	3,88	3,88	3,88	3,88
機体重量 (kg)	4,10	4,40	4,70	5,00	5,40
飛行重量 (kg)	50-70	65-85	80-105	90-115	105-130
認証	Class B, EN : 926-2 : 2013 & 926-1 : 2015, LTF : 2. DV LuftGerPV §1, Nr 7 c				
アクロバット飛行	不可				
ライザー本数	3+1				
アクセルレンジ	130 mm	142 mm	142 mm	150 mm	152 mm
トリマー	無し				
その他可変装置	無し				
最大飛行重量時のブレークストローク (cm)	58	68	72	75	75
認証試験で使用されたハーネスの寸法	* カラビナ間距離: 40±2 cm * カラビナ高さ: 40 ±1cm"	* カラビナ間距離: 44±2 cm * カラビナ高さ: 42 ±1cm"	* カラビナ間距離: 44±2 cm * カラビナ高さ: 42 ±1cm"	* カラビナ間距離: 48±2 cm * カラビナ高さ: 44 ±1cm"	* カラビナ間距離: 48±2 cm * カラビナ高さ: 44 ±1cm"

飛行重量範囲

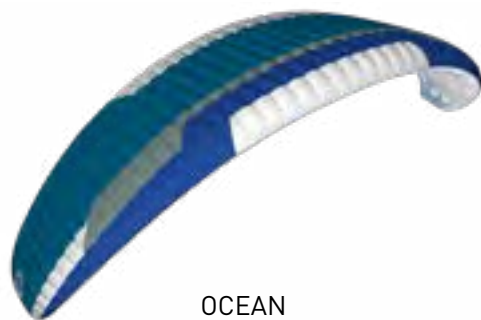
Weight (kg)	50	55	60	65	70	75	80	85	90	95	100	105	110	115	120	125	130	
LEAF3 XS	Green	Green	Dark Blue	Dark Blue	Green													
LEAF3 S				Green	Green	Dark Blue	Dark Blue	Green										
LEAF3 M							Green	Green	Dark Blue	Dark Blue	Green	Green						
LEAF3 ML										Green	Green	Dark Blue	Dark Blue	Green	Green			
LEAF3 L													Green	Green	Dark Blue	Dark Blue	Green	Green



認証飛行重量範囲 (kg)



最適飛行性能を出す理想的飛行重量範囲(kg)



OCEAN



VOLCANO

各部名称



- 1 リーディングエッジ
- 2 トレーリングエッジ
- 3 スタビライザー
- 4 下面
- 5 上面
- 6 Aライザー
- 7 A'ライザー (翼端折り)
- 8 Bライザー
- 9 Cライザー
- 10 ブレークコード
- 11 ブレークコードガイド
- 12 ブレークトグル
- 13 カラビナ取り付けループ
- 14 アクセル接続金具 (ブルンメルフック)
- 15 リペアキットの入ったポーチ

グライダーの接続

キャンピーを広げる

講習バーンあるいは障害物が無く風のないほぼ平な場所を選び、グライダーを広げ三日月形に置く。クロス及びラインが消耗あるいは破損している兆候がないかチェック。ラインをライザーに締結しているラピッドリンクが確実に占められているかチェック。A、B、Cライザー及びライン、ブレークラインに結び目や絡みがないかチェック。

ハーネスの選択

リーフ3は、EN1651およびLTF認証を取得したハーネスを使用してEN-Bの認証を取得しているため、今日市販されているほとんどのハーネスを使用することが可能です。EN1651あるいはLTF認証を取得しているバックプロテクションを装備しているハーネスを使用してください。

グライダーをハーネスに接続する

ライザーがねじれていないように、また向きに注意しながら自動ロック付きカラビナを使用してライザーとハーネスを接続します。Aライザーは進行方向前側になります(右図を参照)。最後に自動ロック付きカラビナが確実に占められてロックがかかっていることを確認します。

カラビナ間距離

グライダーのサイズに合わせてカラビナ間距離が適切になる様にチェストストラップの長さを調節します:

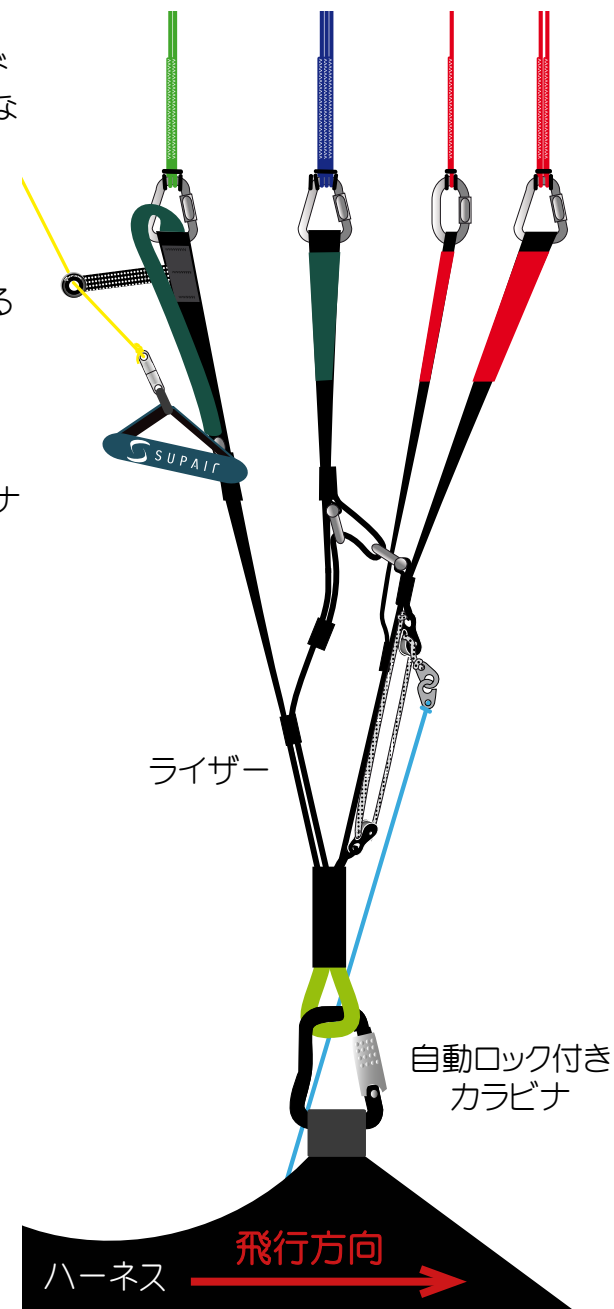
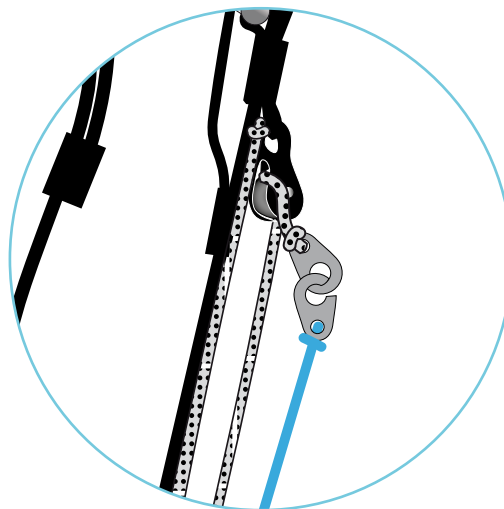
- XSサイズでは41cm
- Sサイズでは45cm
- Mサイズでは45cm
- MLサイズでは49cm
- Lサイズでは49cm

アクセルの接続

ハーネスの製造者の説明にしたがってアクセルシステムを接続します。

接続が完了したら、あなたの好みにしたがってアクセルロープの長さを調節します。

通常のフライト姿勢でアクセルロープにテンションがかかっているならばロープは短かすぎます。



グライダーの接続

ブレークコードの長さ

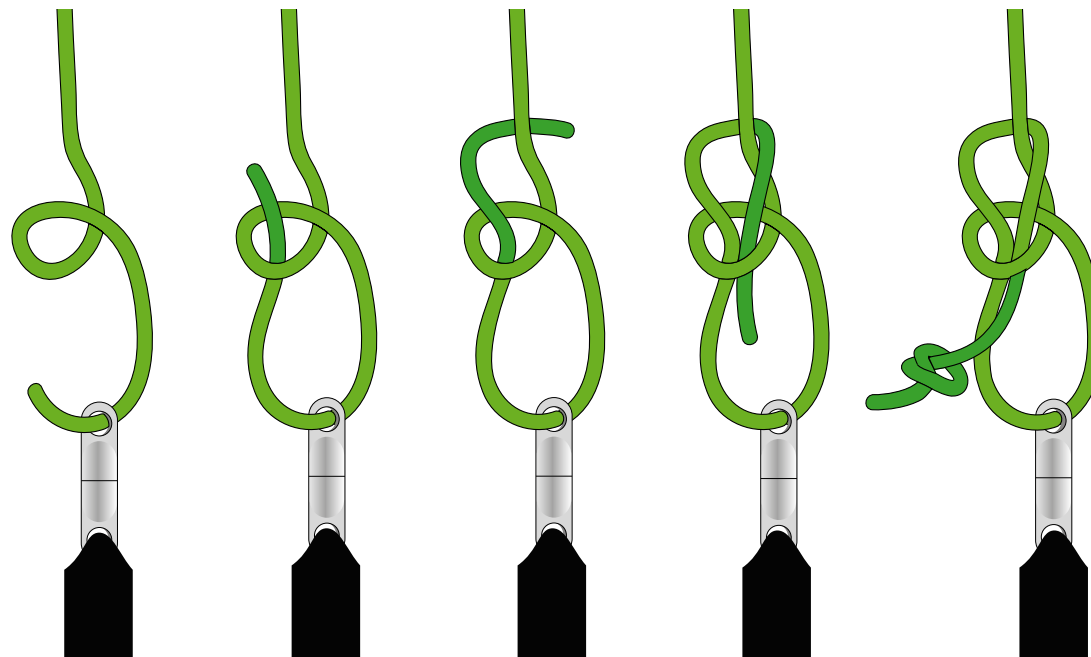
ブレークコードの長さは工場において最適なグライダーコントロールができるように調節されています。しかしながら、あなたの気に入らないようであれば気に入った長さに調節することは可能です。

長さの調節には、もやい結びを使用して長さの変化量を最小限(最大でも5cm)に抑えるようにして下さい。



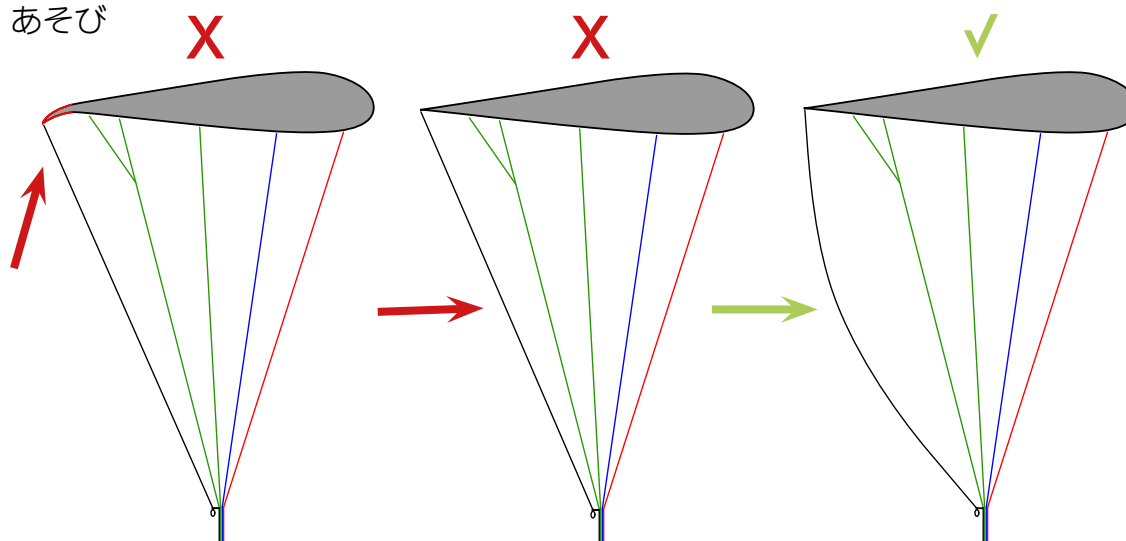
工場出荷時の長さを変えた場合には、飛行する前に必ず専門家の検査を受け承認を受けてください。

もやい結び



ブレークコードの長さの調節には、必ずブレークグルに遊びが残り、翼型が変形しないよう、特にアクセルの機能が妨げられないようにたるませるように注意してください。アクセルを利かせた時にトレーリングエッジが変形してはいけません。

あそび



プレフライトチェック

リーフ3はステップアップ中のパイロット向けにデザインされています。

新しいグライダーの特性を知るためには、乗り慣れたハーネスを使用し、講習斜面あるいはいつもフライトしている良く知っているエリアで大気の安定しているコンディションでショートフライトを繰り返すことを推奨します。

グライダーを広げ、上面を下にし三日月形にアーチを描くようにセットします。

A, B, Cライザー及びライン、ブレークラインに結び目が無いか、絡みがないか、また切り株や石などに引っかかっているか慎重にチェックします。



警告！

フライトごとに徹底したプレフライトチェックをし、ハーネスとグライダーを正しく接続することは極めて重要です。テイクオフの前に以下に上げる項目をチェックしてください:

- ハーネスおよびカラビナに摩耗や破損の兆候がないか
- レスキューパラシュートのコンテナが正しく閉じられトグルが正しい場所にあるか
- あなたの個人的なセッティングが変わっていないか
- グライダーとライザーが正しく接続されラピッドリンクは確実に締められロックされているか
- グライダーとハーネスは正しく接続されライザーにねじれがなくカラビナは正しくロックされているか
- あなたとハーネスは正しく接続され、レッグストラップおよびチェストストラップのバックルは確実に締結されているか
- ヘルメットを装着しストラップは正しく締結されているか

開発チームはリーフ3があらゆる飛行可能なコンディションにおいて最適な立ち上げ特性を持つ様に努力を重ねました。風が弱い、強いに関わらず穏やかな立ち上げ挙動を楽しむことでしょうか。しかしながら、初フライトをする前に、新しいグライダーになれるためにグランドハンドリングの練習をしてください。リーフ3はフロントおよびクロス両スタイルでのライズアップが可能です。

フロントライズアップ

グライダーを立ち上げるには、左右のセンター側Aライザーの上部をそれぞれの両手でつかみ漸進的に前に移動し始めます。グライダーが頭上に立ち上がった後、必要なだけブレークを当てて落ち着かせ、グライダーが確実に開いているかを目視した後、テイクオフのための加速をします。

クロスライズアップ

風が持続し許すならば、グライダーの状態をより良く目視できるクロスライズアップ方式を採用するようにお勧めします。グライダーに向いて左右のセンター側Aライザーの上部を手でつかみます。後ろ向きに歩きながらグライダーを立ち上げます。グライダーを頭上に安定させたら、進行方向へ振り向いて、再度グライダーの状況を目視し、全てが良ければ加速してテイクオフします。

注意:立ち上げるためにAライザー(翼端折りライザー)をつかむ必要はありません。



警告!

テイクオフする前に、コンディションが自分の技能レベルにあっていないこと、また前方、上空そして周りのスペースに障害物が無くクリアであることを確認してください。

リーフ3の飛行性能を引き出すいくつかのアドバイスを以下に示します:

トリムスピード

トリムスピード(ノーブレークの状態)で無風時の最良滑空比になります。

旋回

効率よく旋回するには、まず旋回方向のスペースがクリアであることを確認した後、旋回内側へ体重を移し、望むバンク角になるまで漸進的に内側のブレークを引き下げます。旋回スピードと半径は、旋回外側のブレークを適宜利かせることでコントロールすることも出来ます。

リーフ2はブレークによる旋回性能が良いのでそれほど体重移動をする必要はありません。低速で飛行中に旋回する場合には、スピンあるいはツイストを避けるために旋回外側になるブレークを緩める方向で旋回を始めてください。

アクセルの使用

EN-B規準の認証を取得したリーフ3は全スピード範囲において安定するようにデザインされています。しかしアクセル使用時にグライダーは乱気流に対してより敏感になります。アクセルバーを押している時にキャンピーの内圧が減少するのを感じたら、アクセルバーを元に戻し、適宜ブレークを利かせてフロントが潰れないように対処します。アクセルの作動範囲はサイズによって異なりますが13~15cmとなっています。

ブレークを使わずにグライダーコントロールする

何らかの理由でブレークが使えなくなった場合には、体重移動並びにCライザーを使ってグライダーコントロールをしなければなりません。そのような状況で旋回するには、旋回したい方のCライザーをつかみ引き下げます。望むように進行方向が変わるまでその位置を保持します。この際Cライザーを引きすぎてグライダーがスピンに入らないように十分注意してください。着陸時にはフルブレークする前に出来るだけグライダーを滑空させておいてください。Cライザーによるブレークは、通常のブレークによるフレアより効率が悪く、より激しいランディングになる傾向があるので注意してください。

フライトの終わり

ランディング

選択したランディング場にアプローチする際には、安全にランディングできるよう常に十分な余裕高度をもって下さい。決して地表近くで過激な操縦や急旋回をしないように。常に風に向かって立ち姿勢で、必要ならば着地と同時に走れるように備えてください。コンディションに合わせて出来るだけ高速でアプローチし、最終的にソフトランディングするようにブレークを漸進的に利かせてください。早すぎたり、急激にブレークを利かせたりして、失速させたり急上昇したりしないように十分注意してください。

強風が持続する状態でランディングする際には、着地と同時にすぐさま半回転しグライダーに向き、ブレークを左右同時に引きながらグライダーに近づきます。Cライザーを引き込んでグライダーを潰し地面に落とすことも可能です。

グライダーのたたみ方

コンパクトケースを地面に広げ、その上に絞った状態のキャンピーを置きます。リーディングエッジの補強が折れ曲がらないように、翼端から翼端までを蛇腹折りにします。コンパクトケースのファスナーをキャンピーやラインを挟み込まない様に注意しながら締めます。リーディングエッジの補強が折れ曲がらない様に注意しながらグライダーザックのサイズに合わせてキャンピーを三つ折りあるいは四つ折りにたたみパッキングベルトでおさえます。

特別な使用法

トーイング

リーフ3はトーイングすることが可能です。トーイングの講習を受けた後、認証を取得した装置で資格のあるオペレーターによる場合のみトーイングしてください。トーイング張力は飛行重量に即したものに、またグライダーがパイロットの頭上に安定した状態で引き始めるように注意してください。

アクロバット

リーフ3はアクロバットマヌーバーをするようにデザインされていません。したがってこのようなフライトをしないように警告します。

タンデム



リーフ3はタンデム用としてはデザインされていません。

緊急降下手段

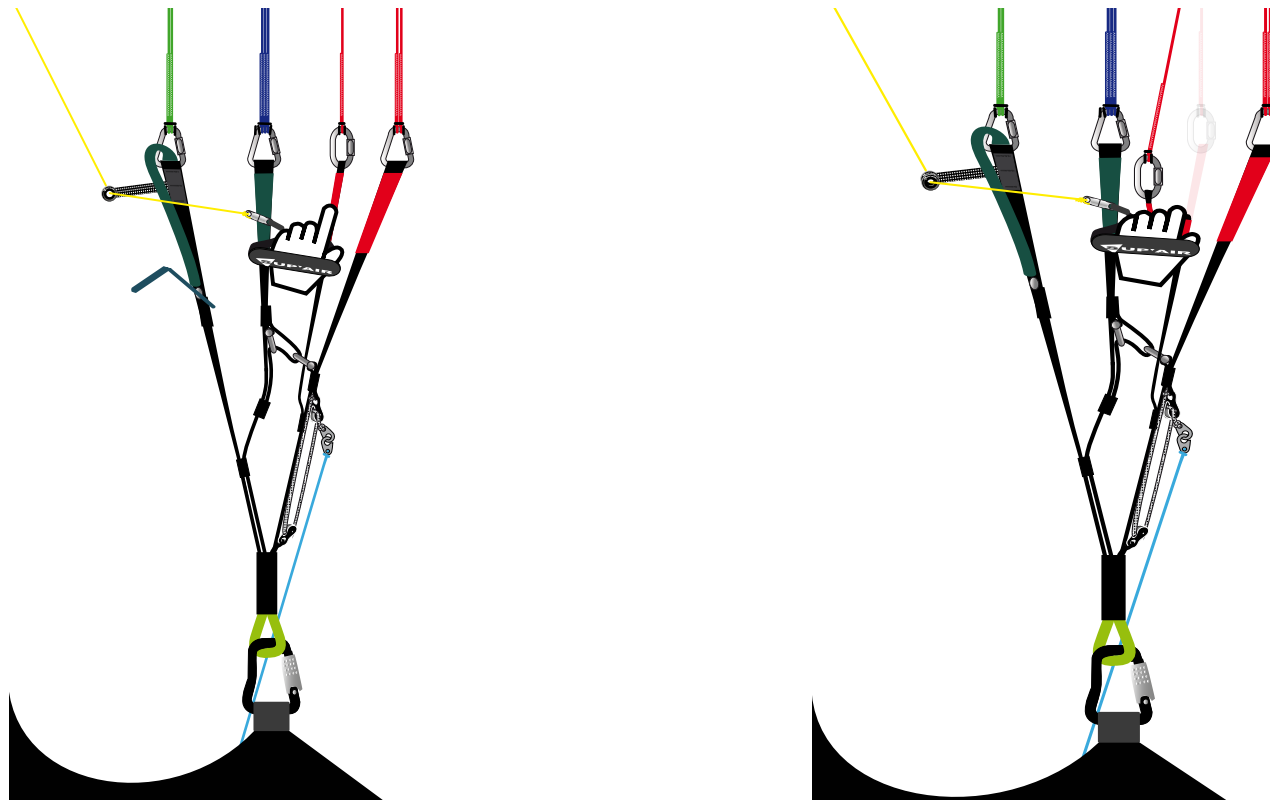
以下に述べる操作は、緊急事態にのみ使用されるべきもので、安全に行うには事前のトレーニングが必要です。気象条件などの適切な事前の解析ならびに判断が、この緊急降下手段の必要性を防ぐことを忘れないでください。トレーニングには大気の安定した時に、できれば水上で行うこと、あるいはSIV（マナーバートレーニング）コースに入校して実施することを推奨します。

翼端折り

翼端を折るとグライダーの沈下率は増大します。地面近くでの翼端折りはお勧めしません。

翼端を折るには、専用のライザー（最も外側のAラインが取り付けられている翼端折りライザーA'）をブレークトグルを保持したまま、翼端がたたまれるまで下方に引き下げます。対称的にスパン全域に渡って前縁が潰れることが無いように、左右同時にではなく、片側ずつ翼端折りライザーを引き下げることをお勧めします。

翼端が折れて安定したら、元のスピードに戻すためにアクセルを使用することをお勧めします。



折れた翼端をもどすには、アクセルに戻してから、翼端折りライザーを同時に離します。ブレークをポンピングすることで回復を促進することができます。

Bラインストール

この操作は通常かなりの力を必要とします。グライダーは、ディープストール状態になり、グライダーコントロールはし難くなります。Bラインストールに入れるには、Bライザーのラピッドリンクの上側をつかみ、翼型が変形するまでBライザーを左右同時に引き下げます。Bラインストールに入るとグライダーの沈下速度は増大します。通常滑空に戻るには、左右のBライザーをAライザーの赤いマークの位置まで漸進的に戻し、その後左右のBライザーをすっかり離します。グライダーは、適度にダイブします。必要に応じてわずかにブレークを引いて落ち着かせてください。

スパイラルダイブ

スパイラルダイブに入れる前に、周り及び下方の空域がクリアであることを確認します。問題が無ければ、旋回内側に体重を移しながら内側のブレークを漸進的に引き下げます。グライダーは1回転したあたりから加速しスパイラルに入ります。沈下率および旋回スピードは旋回外側のブレークを操作して行うことができます。

通常滑空に戻るには、まず体重をニュートラル位置まで戻し、ゆっくりと旋回内側のブレークを緩めます。スパイラルから抜け出す際に急激な上昇を抑えるために、旋回を急いで止めずにグライダーが減速するまで旋回を持続します。スパイラルから急激に抜け出すとグライダーが急上昇した後ダイブに入りますので、瞬時にブレークを当て落ち着かせる必要があります。旋回外側のブレークを当ててゆっくりと旋回速度を減速することで制御された方法でスパイラルから抜け出せます。



過度の荷重がグライダーにかかり、破損する危険性があるので翼端を折った状態でスパイラルに入れることはしないように警告します。



EN-B認証を取得しているリーフ3は、スパイラルに入り続ける傾向は無く、ブレークを元に戻せば自動的に、2回転するうちに通常滑空に戻ります。



危険:スパイラルはグライダーに大きな荷重がかかります。また速いスピードおよび大きなG荷重(遠心力)により方向感覚が失われ、極端な場合失神することがあります。この操作の練習は、十分な高度を確保し慎重に行ってください。出来ればSIV(マヌーバー体験)コースで実施することを強くお勧めします。

ストール

このテクニックは肉体的に強い力を必要とし、推奨されません。この操作は安全な降下手段とは言えません。

アクロバット飛行

このグライダーはアクロバット飛行用にはデザインされていません。決して行わないように忠告します。4G(非対称の場合は2G)を超えるようなマヌーバーを繰り返し行うことはグライダーの劣化を速めるので避けてください。SATマヌーバーは特に機材を傷めます。

非対称潰れ

どんなパラグライダーも乱気流あるいはパイロットの操縦エラーにより潰れることがあります。非対称に潰れた場合にまずしなければならないことは、斜面から離れ直線飛行することです。非対称に潰れた(乱気流によるかパイロット自身が潰した)場合の対処方法として特に推奨するのは;

- 全体重を潰れていない側に移す。
- グライダーが旋回に入らない様に、必要ならば潰れていない側のブレークを適量引き下げる。
- グライダーが安定(直線飛行)しても潰れが自然回復しない場合には、潰れている側のブレークをゆっくり大きくポンピングして潰れを回復させます。その際ブレークを引きすぎて失速させない様に十分注意してください。万が一クラヴァット(翼端がラインに挟み込まれる)してしまった場合は、前述した「翼端折り」操作をして回復させます。翼端折りをしても回復しない場合は、翼端から伸びているスタビラインを翼端がラインから外れるまで引き寄せてください。

対称潰れ

認証試験における対称潰れではグライダーは自然回復するようにデザインされています。対称に潰れた(乱気流によるかパイロット自身が潰した)場合の対処方法として特に推奨するのは;

- ブレークをすっかり開放する。もしパイロット自身で潰す場合にはブレークグルをホックで固定しておくこと。
- グライダーの潰れが回復しパイロットの頭上に戻るのを待つ。グライダーがパイロットの後方にいる時にブレークを決して引かない様に注意してください。失速の危険があります。
- グライダーが前方にダイブするようであればブレークを適量引き込んで落ち着かせます。

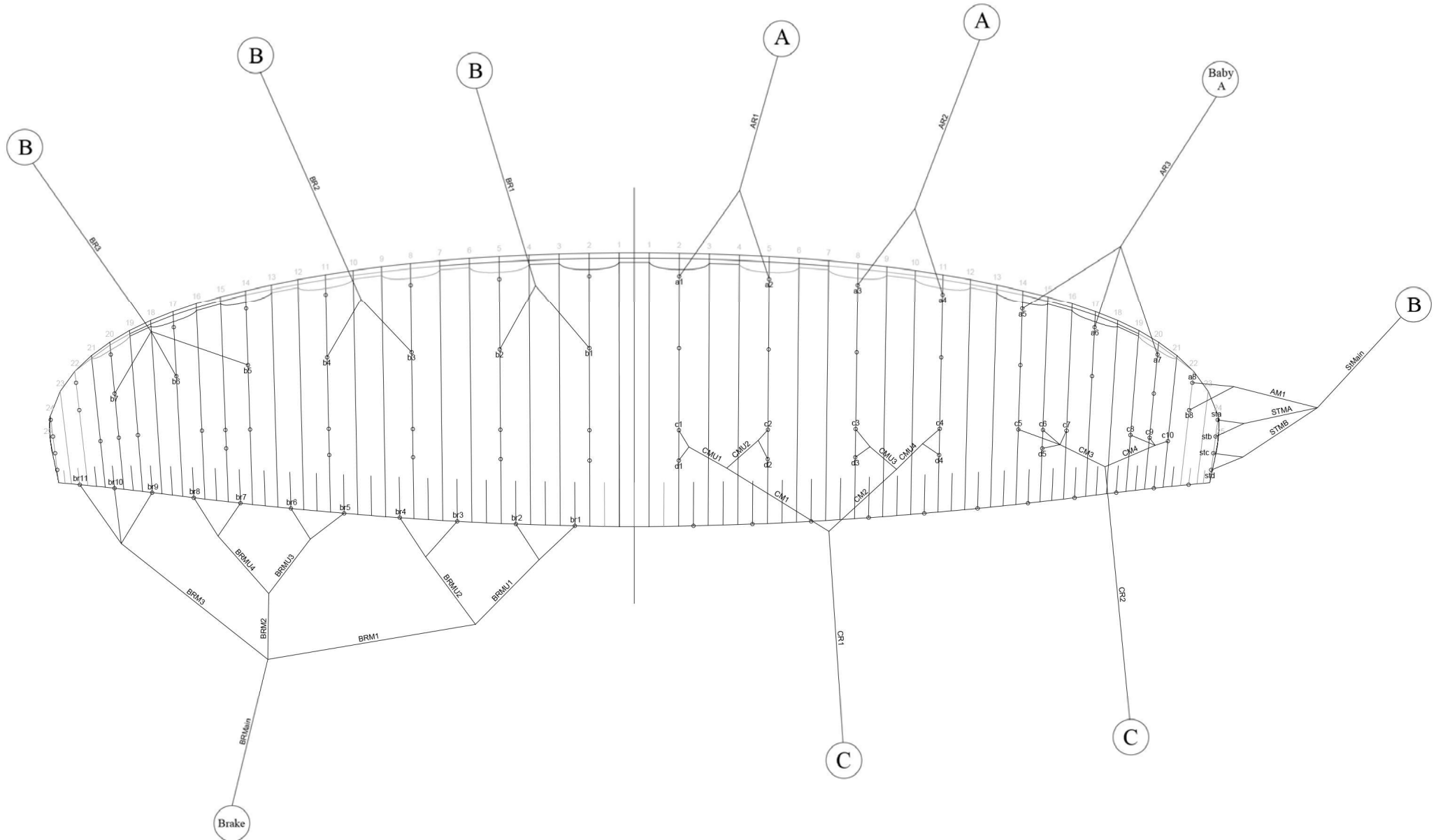
ディープストール

この状態になることは非常にまれですが、グライダーの形状が変形していないのに前進速度が無くなり、ほぼ垂直に降下する”ディープストール”状態になることがあります。万が一この状態になったら、両方のブレークを同時に開放しアクセルを踏み込みます。必要であれば左右のAライザーを押してください。その後、ブレークを操作する前に確実に通常滑空に戻っていることを確認してください。

スピン/非対称ストール

スピンはパイロットのエラーによってのみ起きます。スピンの起きた場合には、スピン内側のブレークをすっかり開放し、グライダーが回復する際に起こすダイブを抑えるようにグライダーを操作してください。

ライン取り付け図



クロス	メーカー	品番
上面(リーディングエッジを除く)	ドミニコ	Dominico 30D soft
上面(リーディングエッジ)	ドミニコ	Dominico 30D soft
下面	ドミニコ	Dominico 20D soft / MJ 32 soft
リブ	MJ Tex	MJ 32 Hard finish white
リブ補強	MJ Tex	MJ 32 Hard finish white

メインライン	メーカー	品番
アッパーライン	ライロス	PPSL 120 / DSL 70
アッパーミドルライン	ライロス	DSL 70 / PPSL 120
ローワーミドルライン	ライロス	PSL 160
ボトムライン	エーデルリッド	A7343-230 / A7343-280 / A7343-190

スタビライン	メーカー	品番
アッパーライン	ライロス	DSL 70
ミドルライン	ライロス	DSL 70
ボトムライン	エーデルリッド	A6843-160

ブレイクライン	メーカー	品番
アッパーライン	ライロス	DSL 70
アッパーミドルライン	ライロス	DSL 70
ローワーミドルライン	ライロス	PPSL 120
ブレイクコード	エーデルリッド	A7850X-240-041
ラピッドリンク	ペグエ	MAILLON RAPIDE DELTA INOX 3,5 MM

ラインチェックシート

LEAF3 サイズ XS

テンション5kgでの全ライン長(ラピッドリンクおよびライザーを含むキャンピー下面までの長さ)
このページをプリントアウトして、ライン長測定時に数値を記入して差を求めるために利用する事が出来ます

		A			B			C			D			ブレーク		
		基準値	試験サンプル	差	基準値	試験サンプル	差	基準値	試験サンプル	差	基準値	試験サンプル	差	基準値	試験サンプル	差
センター	1	6447			6351			6539			6594			6650		
	2	6417			6316			6410			6462			6439		
	3	6391			6291			6381			6428			6294		
	4	6373			6276			6453			6488			6272		
	5	6290			6202			6265			6223			6151		
	6	6161			6078			6198						6058		
	7	6130			6068			6183						6041		
	8							6088						6113		
	9							6066						6024		
	10							6075						5974		
	11	5851			5802								5949			
スタビ	12	5658			5659			5711			5784					

許容誤差:±10mm

ライザー長さ(mm)

ライザー	トリム時	最大加速時
A	496	366
A'	496	366
B	496	431
C	496	496
アクセルレンジ	130 mm	

許容誤差:±5mm

個別ライン長											
Aライン		Bライン		Cライン		Dライン		スタビライン		ブレイクライン	
NAME	縫製後**	NAME	縫製後**	NAME	縫製後**	NAME	縫製後**	NAME	縫製後**	NAME	縫製後**
AR1	4146	BR1	4073	CR1	2976			STmain	4379	BRmain	2551
AR2	4400	BR2	4323	CR2	4024						
AR3	4114	BR3	4061								
				CM1	1501			STMA	390	BRM1	1724
				CM2	1475			STMB	440	BRM2	1927
				CM3	1150					BRM3	2480
AM1	481			CM4	1138						
				CMU1	888					BRMU1	1117
				CMU2	816					BRMU2	986
				CMU3	814					BRMU3	785
				CMU4	847					BRMU4	760
a1	1807	b1	1784	c1	715	d1	770	sta	410	br1	1252
a2	1777	b2	1749	c2	658	d2	710	stb	411	br2	1041
a3	1497	b3	1474	c3	657	d3	704	stc	413	br3	1027
a4	1479	b4	1459	c4	696	d4	731	std	486	br4	1005
a5	1686	b5	1651	c5	626	d5	584			br5	882
a6	1557	b6	1527	c6	559					br6	789
a7	1526	b7	1517	c7	544					br7	797
a8	512	b8	463	c8	461					br8	869
				c9	439					br9	974
				c10	448					br10	924
										br11	899

テンション5kgでのライン長

**縫製後のライン長はループの内側から反対側のループの内側までの最終長さです。

許容誤差:±10mm

LEAF3 サイズ S

テンション5kgでの全ライン長(ラピッドリンクおよびライザーを含むキャンピー下面までの長さ)
このページをプリントアウトして、ライン長測定時に数値を記入して差を求めるために利用する事が出来ます。

		A			B			C			D			ブレーク		
		基準値	試験サンプル	差	基準値	試験サンプル	差	基準値	試験サンプル	差	基準値	試験サンプル	差	基準値	試験サンプル	差
センター	1	6975			6872			7077			7136			7229		
	2	6945			6836			6939			6996			7002		
	3	6914			6812			6909			6960			6847		
	4	6897			6797			6988			7026			6825		
	5	6809			6718			6797			6752			6697		
	6	6670			6585			6725						6598		
	7	6636			6574			6710						6579		
	8							6607						6658		
	9							6583						6560		
	10							6592						6507		
	11	6339			6287								6480			
スタビ	12	6132			6133			6187			6267					

許容誤差:±10mm

ライザー長さ(mm)

ライザー	トリム時	最大加速時
A	517	375
A'	517	375
B	517	446
C	517	517
アクセルレンジ	142 mm	

許容誤差:±5mm

ラインチェックシート

個別ライン長											
Aライン		Bライン		Cライン		Dライン		スタビライン		ブレイクライン	
NAME	縫製後**	NAME	縫製後**	NAME	縫製後**	NAME	縫製後**	NAME	縫製後**	NAME	縫製後**
AR1	4501	BR1	4423	CR1	3231			STmain	4762	BRmain	2789
AR2	4775	BR2	4698	CR2	4384						
AR3	4468	BR3	4415								
				CM1	1629			STMA	425	BRM1	1869
				CM2	1602			STMB	478	BRM2	2093
				CM3	1249					BRM3	2695
AM1	523			CM4	1237					BRMU1	1210
										BRMU2	1070
				CMU1	963					BRMU3	853
				CMU2	886					BRMU4	826
				CMU3	884						
				CMU4	920						
a1	1960	b1	1935	c1	775	d1	834	sta	446	br1	1355
a2	1930	b2	1899	c2	714	d2	771	stb	447	br2	1128
a3	1625	b3	1600	c3	713	d3	764	stc	448	br3	1113
a4	1608	b4	1585	c4	756	d4	794	std	528	br4	1091
a5	1831	b5	1793	c5	679					634	956
a6	1692	b6	1660	c6	607					br6	857
a7	1658	b7	1649	c7	592					br7	865
a8	555	b8	503	c8	501					br8	944
				c9	477					br9	1057
				c10	486					br10	1004
										br11	977

テンション5kgでのライン長

**縫製後のライン長はループの内側から反対側のループの内側までの最終長さです。

許容誤差:±10mm

ラインチェックシート

LEAF3 サイズ M

テンション5kgでの全ライン長(ラピッドリンクおよびライザーを含むキャンピー下面までの長さ)
このページをプリントアウトして、ライン長測定時に数値を記入して差を求めるために利用する事が出来ます

		A			B			C			D			ブレード		
		基準値	試験サンプル	差	基準値	試験サンプル	差	基準値	試験サンプル	差	基準値	試験サンプル	差	基準値	試験サンプル	差
センター	1	7355			7247			7465			7528			7647		
	2	7326			7211			7322			7382			7410		
	3	7300			7187			7292			7345			7247		
	4	7282			7172			7374			7415			7225		
	5	7189			7090			7174			7127			7092		
	6	7042			6950			7098						6988		
	7	7005			6937			7082						6969		
	8							6972						7052		
	9							6948						6949		
	10							6956						6892		
	11	6691			6636								6864			
スタビ	12	6472			6473			6530			6614					

許容誤差:±10mm

ライザー長さ(mm)

ライザー	トリム時	最大加速時
A	517	375
A'	517	375
B	517	446
C	517	517
アクセルレンジ	142 mm	

許容誤差:±5mm

ラインチェックシート

LEAF3 サイズ M

個別ライン長											
Aライン		Bライン		Cライン		Dライン		スタビライン		ブレイクライン	
NAME	縫製後**	NAME	縫製後**	NAME	縫製後**	NAME	縫製後**	NAME	縫製後**	NAME	縫製後**
AR1	4767	BR1	4685	CR1	3423			main	5049	main	2914
AR2	5065	BR2	4978	CR2	4646						
AR3	4739	BR3	4680								
				CM1	1019			STMA	451	BRM1	1977
				CM2	939			STMB	507	BRM2	2218
				CMU3	937					BRM3	2862
				CMU4	975						
AM1	555			CMU1	1019					BRMU1	1279
				CMU2	939					BRMU2	1133
				CMU3	937					BRMU3	903
				CMU4	975					BRMU4	875
a1	2074	b1	2048	c1	819	d1	882	sta	473	br1	1431
a2	2045	b2	2012	c2	756	d2	816	stb	474	br2	1194
a3	1721	b3	1695	c3	756	d3	809	stc	475	br3	1177
a4	1703	b4	1680	c4	800	d4	841	std	559	br4	1155
a5	1940	b5	1900	c5	719	d5	672			br5	1011
a6	1793	b6	1760	c6	643					br6	907
a7	1756	b7	1747	c7	627					br7	916
a8	588	b8	533	c8	530					br8	999
				c9	506					br9	1120
				c10	514					br10	1063
										br11	1035

許容誤差:±10mm

テンション5kgでのライン長
**縫製後のライン長はループの内側から反対側のループの内側までの最終長さです。

テンション5kgでの全ライン長(ラピッドリンクおよびライザーを含むキャンピー下面までの長さ)
このページをプリントアウトして、ライン長測定時に数値を記入して差を求めるために利用する事が出来ます

		A			B			C			D			ブレーク		
		基準値	試験サンプル	差	基準値	試験サンプル	差	基準値	試験サンプル	差	基準値	試験サンプル	差	基準値	試験サンプル	差
センター	1	7666			7553			7770			7835			7954		
	2	7636			7516			7622			7684			7708		
	3	7611			7492			7591			7647			7539		
	4	7594			7477			7678			7720			7517		
	5	7497			7393			7466			7416			7380		
	6	7345			7247			7387						7273		
	7	7306			7234			7370						7253		
	8							7257						7340		
	9							7231						7233		
	10							7240						7174		
	11	6979			6922								7144			
スタビ	12	6751			6752			6812			6899					

許容誤差:±10mm

ライザー長さ(mm)

ライザー	トリム時	最大加速時
A	537	387
A'	537	387
B	537	462
C	537	537
アクセルレンジ	150 mm	

許容誤差:±5mm

ラインチェックシート

個別ライン長											
Aライン		Bライン		Cライン		Dライン		スタビライン		ブレークライン	
NAME	縫製後**	NAME	縫製後**	NAME	縫製後**	NAME	縫製後**	NAME	縫製後**	NAME	縫製後**
AR1	4970	BR1	4884	CR1	3557			STmain	5268	BRmain	3066
AR2	5283	BR2	5191	CR2	4831						
AR3	4944	BR3	4882								
				CM1	1798			STMA	471	BRM1	2060
				CM2	1770			STMB	529	BRM2	2313
				CM3	1380					BRM3	2980
AM1	579			CM4	1368						
				CMU1	1062					BRMU1	1332
				CMU2	979					BRMU2	1181
				CMU3	977					BRMU3	942
				CMU4	1017					BRMU4	913
a1	2162	b1	2135	c1	854	d1	919	sta	493	br1	1490
a2	2132	b2	2098	c2	789	d2	851	stb	494	br2	1244
a3	1794	b3	1767	c3	788	d3	844	stc	496	br3	1226
a4	1777	b4	1752	c4	835	d4	877	std	583	br4	1204
a5	2023	b5	1981	c5	750	d5	700			br5	1053
a6	1871	b6	1835	c6	671					br6	946
a7	1832	b7	1822	c7	654					br7	955
a8	613	b8	556	c8	553					br8	1042
				c9	527					br9	1168
				c10	536					br10	1109
										br11	1079

テンション5kgでのライン長

**縫製後のライン長はループの内側から反対側のループの内側までの最終長さです。

許容誤差: ±10mm

ラインチェックシート

LEAF3 サイズ L

テンション5kgでの全ライン長(ラピッドリンクおよびライザーを含むキャノピー下面までの長さ)
このページをプリントアウトして、ライン長測定時に数値を記入して差を求めるために利用する事が出来ます

		A			B			C			D			ブレード		
		基準値	試験サンプル	差	基準値	試験サンプル	差	基準値	試験サンプル	差	基準値	試験サンプル	差	基準値	試験サンプル	差
センター	1	7926			7808			8044			8112			8256		
	2	7896			7771			7893			7958			8002		
	3	7871			7747			7862			7919			7830		
	4	7853			7733			7952			7996			7808		
	5	7753			7646			7738			7687			7665		
	6	7596			7496			7656						7554		
	7	7555			7481			7638						7535		
	8							7521						7624		
	9							7495						7514		
	10							7503						7453		
	11	7218			7160								7422			
スタビ	12	6982			6983			7045			7135					

許容誤差:±10mm

ライザー長さ(mm)

ライザー	トリム時	最大加速時
A	537	385
A'	537	385
B	537	463
C	537	537
アクセルレンジ	152 mm	

許容誤差:±5mm

個別ライン長											
Aライン		Bライン		Cライン		Dライン		スタビライン		ブレイクライン	
NAME	縫製後**	NAME	縫製後**	NAME	縫製後**	NAME	縫製後**	NAME	縫製後**	NAME	縫製後**
AR1	5154	BR1	5064	CR1	3699			main	5460	main	3220
AR2	5479	BR2	5384	CR2	5025						
AR3	5126	BR3	5062								
				CM1	1863			STMA	488	BRM1	2134
				CM2	1835			STMB	548	BRM2	2397
				CMU3	1431					BRM3	3090
				CMU4	1418						
AM1	600			CMU1	1099					BRMU1	1379
				CMU2	1015					BRMU2	1225
				CMU3	1012					BRMU3	976
				CMU4	1054					BRMU4	947
a1	2240	b1	2212	c1	884	d1	952	sta	511	br1	1542
a2	2210	b2	2175	c2	817	d2	882	stb	512	br2	1288
a3	1860	b3	1831	c3	817	d3	874	stc	514	br3	1270
a4	1842	b4	1817	c4	865	d4	909	std	604	br4	1248
a5	2097	b5	2054	c5	777	d5	726			br5	1091
a6	1940	b6	1904	c6	695					br6	980
a7	1899	b7	1889	c7	677					br7	990
a8	635	b8	577	c8	573					br8	1079
				c9	547					br9	1210
				c10	555					br10	1149
										br11	1118

テンション5kgでのライン長

許容誤差:±10mm

**縫製後のライン長はループの内側から反対側のループの内側までの最終長さです。

LEAF3 XS

認証登録番号:

N° PPG_2087.2022 Supair LEAF 3 XS

LEAF3 S

認証登録番号:

N° PG_2049.2022 Supair LEAF 3 S

LEAF3 M

認証登録番号:

N°PG_2044.2022 Supair LEAF 3 M

LEAF3 ML

認証登録番号:

N° PG_2088.2022 Supair LEAF 3 ML

LEAF3 L

認証登録番号:

N° PG_2135.2023 Supair LEAF 3 L

クリーニングおよび保守

頻りにキャンピーを洗浄することはお勧めしません。しかしながら汚れを落としたいと思った時には、洗剤を使用せず真水を柔らかい布に染み込ませて、柔らかく汚れをふき取るようにして下さい。汚れをふき取った後は十分乾燥させてから、キャンピーを畳んでください。

また、定期的にグライダーの状態をチェックしてください:

- 小さな(直径2cm以内)生地破損はグライダーに付属のリペアキットにあるリペアクロスを適切な大きさに切って両側から貼り付けることで簡単な修理をすることが出来ます。
- キャンピー内部に入り込んだ異物(砂、小石、木葉など)を取り除きます。

保管および運搬

グライダーを使用しないときは、グライダーザックに収納し、紫外線の当たらない、乾燥して涼しい場所に保管してください。グライダーが濡れていたり湿気ていたりした場合は、保管する前に十分乾燥させてください。グライダーを運搬する際には、紫外線を避け、何かと接触して摩擦しないように注意してください(グライダーザックに収納する)。また湿気の多い場所に長時間さらしたり運搬したりしないようにして下さい。金属パーツは腐食しないように注意してください。

耐用年数



プレフライトチェックをするしないにかかわらず、あなたのグライダーを定期的に検査してください。2年毎あるいは100時間毎のどちらか早い時期に、専門の検査機関による検査を受けることを推奨します。特に以下の項目に注意して下さい:



- ライン(摩耗、破損、屈曲)、ライザー(摩耗、破損)、ラピッドリンク(摩耗、破損)、カラビナ(摩耗、破損)
- リーフ3に使用されている素材は、重量と耐久性の最適組み合わせにより選択されています。しかしながら紫外線に長時間さらされたり、過度の摩耗にさらされたり、化学物質にさらされたりした場合には、専門家による徹底した検査が不可欠です。あなたの安全に大きくかかっています。
- カラビナは5年ごとあるいは開閉がスムーズでなくなったり破損した兆候が見られたりしたらすぐに同一モデルのもの(あるいはスプエアーが推奨する)と交換してください。

交換部品

次のような部品に不具合、破損が生じた場合は販売店、輸入代理店を通して購入することが出来ます:

- * サスペンションラインおよびブレークライン
- * ラピッドリンク、カラビナ
- * ライザー

修理



最高品質の素材を使用していますが、あなたのグライダーは摩耗したり破損したりすることがあります。したがって、定期的に専門家による検査が必要になります。

保証期間が過ぎた製品でもスプエアーは修理を行います。電話あるいはメール(sav@supair.com)で連絡をして見積もりを要求してください。

リサイクル

全ての素材は、その優れた機械的性質並びに環境に優しい特性から選択されています。我々の製品に使用されている全ての素材は環境に対して脅威となるものではありません。そのほとんどはリサイクル可能です。もしあなたあるいは定期検査をする専門家が、リーフ3の耐用年数が到達したと判断したなら、金属パーツ、プラスチックパーツを取り外し、あなたの国のリサイクルガイドラインにしたがってそれぞれを廃棄するようにして下さい。また繊維製品に関してはその専門の機関に問い合わせる廃棄してください。

エコに対する責任

パラグライディングはアウトドア活動です。あなたは活動する環境に対する責任を負っています。したがって以下のことに気を使ってください：

- * その場所の動植物を尊重する
- * 自然にゴミを巻き散らかさない
- * 音のレベルを低く抑える

そうすることによって、あなたは地球とスポーツのための未来を確保することに参加していることになります。

定期検査



あなたのグライダーは2年毎あるいは100時間毎のどちらか早い時期に資格のある専門家による定期検査を受けなければなりません。また、その機会を利用して緊急パラシュートのリパックを実施してください。

保証

スップエアーは、その製品の設計並びに製造に大変な神経を使っており、ご購入から3年間に限り通常の使用中に発生した、その製造瑕疵ならびに設計上の欠陥に対し保証いたします。間違った使用方法あるいは酷い高温、激しい日照、高湿度などの過酷な条件下での使用による損傷は保証の対象になりません。

免責



パラグライディングは、技術、専門知識ならびに正しい判断力を必要とするスポーツです。公認されたスクールで練習し、適切な保険に加入し、必要な技能証を取得し、気象条件に自分の技能があるかを確認して、常に安全に留意して下さい。スップエアーを始め輸入代理店並びに販売店はあなたのパラグライディング活動に対する責任を負うことは出来ません。また、この取扱説明書に記載されている以外の使用またはセットアップに関しても同様です。



このスップエアー製品は、ソロ用パラグライダーとしてのみデザインされています。その他の目的(タンデム用パラグライダー、スカイダイビングあるいはベースジャンピング用等)として使用することは完全に禁止されています。

パイロットの装備

ヘルメットを着用し、くるぶしを保護するブーツを履き適切な衣服を着ることは必須です。また、あなたの体重に合った緊急パラシュートを正しくハーネスに装着することも必須です。リーフ3には全て(タンデム用のものを除く)のスップエアー製ハーネス、アクセサリおよび緊急パラシュートが適合します。さらなる情報は弊社ホームページ(www.supair.com)をご覧ください。

運用限界プラカード

型式	SUPAIR 式 LEAF3 XS 型		
製造社名	SUPAIR SAS	登録番号	PI -
製造番号		製造年月	
運 用 限 界			
飛行重量	最小 50 kg ~ 最大 70 kg		
制限荷重	+ 4 G 許容最大風速 7 m/s		
<ul style="list-style-type: none"> ・このキャンピーをスカイダイビングには使用しないで下さい。 ・このキャンピーは曲技飛行用には設計されていません。 ・このキャンピーは動力飛行用に使用 できません。できません。 ・その他詳細は取扱説明書を参照してください。 			
必要技能	JHF NP 証 以上		
輸入者名	ファルホークインターナショナル有限会社 TEL:03-5451-5175		
型式	SUPAIR 式 LEAF3 M 型		
製造社名	SUPAIR SAS	登録番号	PI -
製造番号		製造年月	
運 用 限 界			
飛行重量	最小 80 kg ~ 最大 105 kg		
制限荷重	+ 4 G 許容最大風速 7 m/s		
<ul style="list-style-type: none"> ・このキャンピーをスカイダイビングには使用しないで下さい。 ・このキャンピーは曲技飛行用には設計されていません。 ・このキャンピーは動力飛行用に使用 できません。できません。 ・その他詳細は取扱説明書を参照してください。 			
必要技能	JHF NP 証 以上		
輸入者名	ファルホークインターナショナル有限会社 TEL:03-5451-5175		

型式	SUPAIR 式 LEAF3 S 型		
製造社名	SUPAIR SAS	登録番号	PI -
製造番号		製造年月	
運 用 限 界			
飛行重量	最小 65 kg ~ 最大 85 kg		
制限荷重	+ 4 G 許容最大風速 7 m/s		
<ul style="list-style-type: none"> ・このキャンピーをスカイダイビングには使用しないで下さい。 ・このキャンピーは曲技飛行用には設計されていません。 ・このキャンピーは動力飛行用に使用 できません。できません。 ・その他詳細は取扱説明書を参照してください。 			
必要技能	JHF NP 証 以上		
輸入者名	ファルホークインターナショナル有限会社 TEL:03-5451-5175		
型式	SUPAIR 式 LEAF3 ML 型		
製造社名	SUPAIR SAS	登録番号	PI -
製造番号		製造年月	
運 用 限 界			
飛行重量	最小 90 kg ~ 最大 115 kg		
制限荷重	+ 4 G 許容最大風速 7 m/s		
<ul style="list-style-type: none"> ・このキャンピーをスカイダイビングには使用しないで下さい。 ・このキャンピーは曲技飛行用には設計されていません。 ・このキャンピーは動力飛行用に使用 できません。できません。 ・その他詳細は取扱説明書を参照してください。 			
必要技能	JHF NP 証 以上		
輸入者名	ファルホークインターナショナル有限会社 TEL:03-5451-5175		

運用限界プラカード

型 式	SUPAIR 式 LEAF3 L 型		
製造社名	SUPAIR SAS	登録番号	PI-
製造番号		製造年月	
運 用 限 界			
飛行重量	最小 105 kg ~ 最大 130 kg		
制限荷重	+ 4 G	許容最大風速	7 m/s
このキャンピーをスカイダイビングには使用しないでください。			
・このキャンピーは曲技飛行用には設計されていません。			
・このキャンピーは動力飛行用に使用できません。できません。			
・その他詳細は取扱説明書を参照してください。			
必要技能	JHF NP 証 以上		
輸入者名	ファルホークインターナショナル有限公司 TEL:03-5451-5175		

JP


SUPAIR
LIFE IS IN THE AIR

輸入者 ファルホークインターナショナル株式会社
〒154-0021 東京都世田谷区豪徳寺1-53-12
<https://www.falhawk.co.jp> Email: info@falhawk.co.jp

SUPAIR
Parc Altaïs
34 rue Adrastée
74650 Chavanod, Annecy
FRANCE

info@supair.com
+33(0)4 50 45 75 29

45°54.024'N / 06°04.725'E

LEAF3 